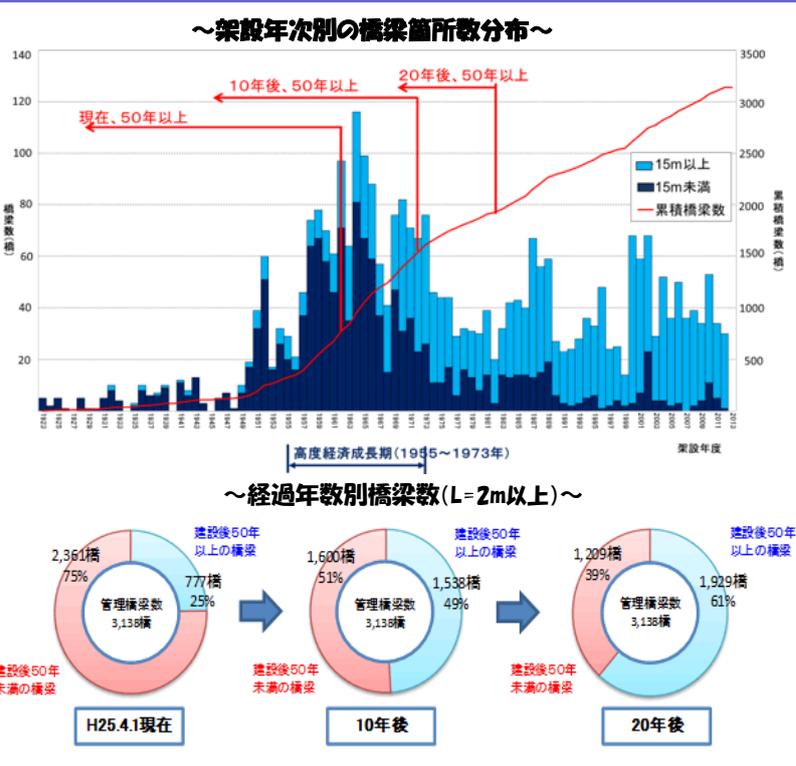


～国が管理する橋梁の老朽化の現状～

中国地方整備局が管理する2m以上の橋梁は、平成25年4月現在3,138橋あります。また、これらの橋梁は、高度経済成長期(1955年～1973年)に全体の約4割にあたる約1,350橋が建設されており、今後これら橋梁の高齢化が一斉に進むことから、補修・架替えが必要となります。

建設後50年以上を経過した橋梁の占める割合は、現在約25%ですが20年後には約60%にまで急激に増加します。

橋の損傷にはさまざまな原因があり、その原因に即した対応が必要のため定期的なメンテナンスが必要となり、点検→診断→措置→記録→(次の点検)というメンテナンスサイクルを行い、予防的な保全を効率的・効果的に進めます。



メンテナンスサイクルの構築

【橋梁点検】

【診断】
定期点検結果に基づき補修等の計画を策定

点検 → 診断 → 措置 → 記録 → 点検

【記録】

【補修】

長寿命化計画

近接目視点検の実施状況

橋梁保全実践講座の実施状況

～徳山工業高等専門学校生が山口河川国道事務所で実習を行いました～

徳山工業高等専門学校 土木建築工学科4年生4名が、国土交通省 山口河川国道事務所へ夏期実習に来られました。学生に就業体験によって学習意欲の喚起と、国土交通省が行う事業について理解を深めてもらうことを目的として実施しています。

各自実習テーマについて、職員の指導のもと熱心に検討され、すばらしい成果を取りまとめ発表されました。

～実習テーマ～

- ★道路事業の進め方とルート選定について
- ★周南地区における渋滞の状況とその対策
- ★事故多発交差点における事故原因の分析及び対策の立案
- ★河川管理実務体験と効率的な河川管理について



道づくり・川づくりに興味心身の実習生達。たくさん吸収してくれました。



事務所キャラクター まるくん

▲極門のゲート操作を体験する実習生
～実習生の感想～
ゲートの開閉の仕方が何種類もあり、
いろんな状況で対応できることに安心感
を持った。手動操作は体力がいる。

RIVARO[リバロ]とは

RIVer And ROad(川と道路)の頭文字。
山口河川国道事務所の川づくり、道づくりをイメージしてネーミングしました。
皆さまに親しまれる地域づくりを目指して日々頑張りますので、よろしくお願ひします。
山口河川国道事務所のホームページにも掲載しています。

お問い合わせ: 山口河川国道事務所 計画課
0835-22-1819
山口河川国道事務所ホームページ:
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

